

特別企画：第12回 福島県内企業のメインバンク実態調査（2022年）**東邦銀行、シェア4割でトップ****～上位20行、順位は前年と同一****はじめに**

「青森銀行」と「みちのく銀行」の持ち株会社「プロクレアホールディングス」は2022年11月11日、2025年1月1日に両行が合併し、「青森銀行」が存続会社となり、「青森みちのく銀行」に商号変更する予定であることを発表した。数年前までは青森県内のライバルとして凌ぎを削っていた両行の合併は、東北における金融機関全体を取り巻く経営環境（低金利による貸出業務の低迷や少子高齢化に伴う競合激化等）の厳しさを物語るものと言えよう。

コロナ禍で疲弊した中小企業への支援が、経営再建や事業承継、取引先の新規開拓など、資金繰りから企業再編・再生へと移ろうなかで、地域金融機関に求められる役割は経営の様々な場面で増している。金融機関によっては実質無利子・無担保融資（ゼロゼロ融資）などで地域密着型の経営を選択する傾向もあるなか、金利以外の魅力度を高めた金融機関が様々な課題を持つ企業から幅広い支持を得る形となり、今後メインバンクシェアに変化が訪れる可能性がある。

帝国データバンク郡山支店では、2022年10月末日時点の企業概要データベース COSMOS2（全国147万社収録、特殊法人・個人事業主含む）から、福島県内の企業（約2万2800社）がメインバンクと認識している金融機関について抽出し集計した。

なお、福島県内における同調査は2021年12月に次いで12回目。

※本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有している企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数とは異なる。また、1企業に複数のメインがあるケースでは、当該企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとして集計した。

調査結果（要旨）

1. 福島県内の企業約2万2800社のうち、各企業がメインバンクとして認識している金融機関で最も多かったのは、**東邦銀行**（福島市）の9167社で、シェア（構成比）は40.29%
2. シェア上位10行では、5位の**常陽銀行**（水戸市）以外の9行が地元金融機関
3. 主要業種別でも**東邦銀行**が全業種で1位。特に「卸売」「サービス」で4割強の構成比
4. 売上規模別でも**東邦銀行**がすべて1位。一方、年商「50億円以上」では、上位10行中6行が県外

1. 上位20行～上位10行中9行が地元金融機関、上位20行の順位は前年と同一

福島県内の企業がメインバンクと認識している上位20行は表1の通り。1位は、**東邦銀行**（福島市）で9167社、シェアにして40.29%を占めた。2位は、**大東銀行**（郡山市）2201社、同9.67%、3位は、**福島銀行**（福島市）1894社、同8.32%、4位は、**福島信金**（福島市）1241社、同5.45%の順。上位4行を地元金融機関が占め、シェア合計は全体の6割強となった。

地元の有力金融機関の強さが目立っており、特に1位の**東邦銀行**は約4割のシェアを占め、2位以下を30ポイント以上引き離れた。福島県全体をカバーする店舗網と、多くの取引先を有する同行の県内における圧倒的な強さを示している。

5位は、唯一の県外金融機関としてトップテン入りを果たした茨城県を地盤とする**常陽銀行**（水戸市）884社、同3.89%となり、上位10行中9行が地元金融機関でシェアは約8割を占めた。上位20行の順位は前年と同一で、シェアの増減も1%未満となり、前年とほぼ同じだった。

表1 福島県メインバンク社数 上位20行

順位	金融機関	2022年			2021年			
		社数 (社)	シェア	前年比 (pt)	順位	社数 (社)	シェア	前年比 (pt)
1	東邦	9,167	40.29%	▲ 0.09	1	9,230	40.38%	▲ 0.32
2	大東	2,201	9.67%	▲ 0.06	2	2,224	9.73%	+0.01
3	福島	1,894	8.32%	+0.09	3	1,881	8.23%	▲ 0.04
4	福島信金	1,241	5.45%	▲ 0.01	4	1,249	5.46%	±0.00
5	常陽	884	3.89%	▲ 0.10	5	911	3.99%	+0.02
6	ひまわり信金	793	3.49%	▲ 0.05	6	809	3.54%	▲ 0.04
7	郡山信金	716	3.15%	±0.00	7	720	3.15%	+0.12
8	須賀川信金	674	2.96%	▲ 0.05	8	687	3.01%	+0.05
9	いわき信組	585	2.57%	+0.01	9	585	2.56%	+0.07
10	白河信金	553	2.43%	+0.02	10	552	2.41%	+0.05
11	会津信金	547	2.40%	+0.02	11	545	2.38%	±0.00
12	福島県商工信組	491	2.16%	▲ 0.01	12	495	2.17%	+0.06
13	二本松信金	394	1.73%	+0.02	13	392	1.71%	▲ 0.04
14	七十七	356	1.56%	±0.00	14	356	1.56%	▲ 0.01
15	みずほ	336	1.48%	▲ 0.03	15	346	1.51%	±0.00
16	あぶくま信金	319	1.40%	+0.01	16	317	1.39%	+0.04
17	会津商工信組	215	0.95%	+0.01	17	216	0.94%	+0.01
18	秋田	180	0.79%	▲ 0.01	18	182	0.80%	+0.03
19	相双五城信組	100	0.44%	▲ 0.01	19	102	0.45%	+0.01
20	ふくしま未来農協	85	0.37%	±0.00	20	84	0.37%	+0.02

2. 業種別 ～東邦銀行がすべてトップ、「卸売業」「サービス業」は4割強

主要業種別の上位行は表2の通り。全業種とも1位が**東邦銀行**となり、2位以下を大きく引き離している。その他産業（農林水産・金融・鉱業など）は4農協がランクイン。

表2（主要業種別上位行）

建設業					製造業				
順位	金融機関	2022年			順位	金融機関	2022年		
		社数 (社)	シェア	前年比 (pt)			社数 (社)	シェア	前年比 (pt)
1	東邦	3,057	38.33%	▲ 0.10	1	東邦	861	39.50%	▲ 0.02
2	大東	881	11.05%	▲ 0.06	2	福島	190	8.72%	+0.10
3	福島	749	9.39%	+0.13	3	大東	177	8.12%	±0.00
4	福島信金	462	5.79%	+0.02	4	福島信金	124	5.69%	+0.06
5	ひまわり信金	341	4.28%	▲ 0.09	5 ↓	常陽	122	5.60%	▲ 0.03
6	郡山信金	294	3.69%	▲ 0.02	6	須賀川信金	81	3.72%	▲ 0.09
7	いわき信組	280	3.51%	+0.03	7	ひまわり信金	69	3.17%	▲ 0.01
8	常陽	258	3.23%	▲ 0.12	8	白河信金	66	3.03%	+0.04
9	須賀川信金	238	2.98%	±0.00	9	会津信金	61	2.80%	▲ 0.01
10	会津信金	196	2.46%	±0.00	10	みずほ	54	2.48%	▲ 0.02

卸売業					小売業				
順位	金融機関	2022年			順位	金融機関	2022年		
		社数 (社)	シェア	前年比 (pt)			社数 (社)	シェア	前年比 (pt)
1	東邦	892	45.91%	▲ 0.48	1	東邦	1,160	37.66%	+0.38
2	大東	165	8.49%	▲ 0.18	2	大東	314	10.19%	▲ 0.10
3	福島	152	7.82%	+0.34	3	福島	252	8.18%	+0.27
4	常陽	104	5.35%	▲ 0.38	4	福島信金	202	6.56%	+0.11
5	福島信金	77	3.96%	▲ 0.06	5	常陽	112	3.64%	▲ 0.14
6	ひまわり信金	61	3.14%	+0.15	6	ひまわり信金	111	3.60%	▲ 0.08
7 ↑	郡山信金	53	2.73%	+0.25	7	会津信金	105	3.41%	+0.04
8 ↓	白河信金	51	2.62%	▲ 0.01	8	須賀川信金	93	3.02%	▲ 0.12
9 ↑	福島県商工信組	44	2.26%	+0.14	9	郡山信金	91	2.95%	▲ 0.10
9	須賀川信金	44	2.26%	▲ 0.01	10	白河信金	82	2.66%	+0.06

運輸・通信業					サービス業				
順位	金融機関	2022年			順位	金融機関	2022年		
		社数 (社)	シェア	前年比 (pt)			社数 (社)	シェア	前年比 (pt)
1	東邦	284	38.38%	+0.42	1	東邦	2,287	44.83%	▲ 0.23
2	大東	69	9.32%	▲ 0.34	2	大東	462	9.06%	+0.08
3	福島	66	8.92%	+0.45	3	福島	381	7.47%	▲ 0.04
4	常陽	42	5.68%	+0.12	4	福島信金	259	5.08%	▲ 0.07
5	福島県商工信組	34	4.59%	▲ 0.04	5	常陽	183	3.59%	▲ 0.15
6 ↓	須賀川信金	32	4.32%	▲ 0.31	6	郡山信金	153	3.00%	▲ 0.03
7	福島信金	30	4.05%	▲ 0.05	7	ひまわり信金	144	2.82%	+0.03
8	郡山信金	28	3.78%	▲ 0.06	8	須賀川信金	126	2.47%	▲ 0.05
9	ひまわり信金	25	3.38%	▲ 0.06	9	福島県商工信組	110	2.16%	+0.06
9 ↑	白河信金	25	3.38%	+0.07	10 ↑	会津信金	97	1.90%	+0.03

不動産業					その他産業				
順位	金融機関	2022年 社数	シェア	前年比	順位	金融機関	2022年 社数	シェア	前年比
		(社)		(pt)			(社)		(pt)
1	東邦	425	40.40%	+0.08	1	東邦	201	29.60%	▲ 1.22
2	大東	91	8.65%	▲ 0.17	2	大東	42	6.19%	+0.15
3	福島	75	7.13%	▲ 0.56	3	ふくしま未来農協	30	4.42%	+0.19
4	福島信金	67	6.37%	▲ 0.27	4 ↓	福島	29	4.27%	+0.04
5	いわき信組	43	4.09%	▲ 0.08	5 ↓	会津いいて農協	28	4.12%	▲ 0.11
6	須賀川信金	42	3.99%	+0.29	6	白河信金	23	3.39%	▲ 0.08
7 ↓	常陽	40	3.80%	+0.10	6 ↑	常陽	23	3.39%	+0.67
8	郡山信金	36	3.42%	+0.10	8 ↓	いわき市農協	21	3.09%	▲ 0.08
9	福島県商工信組	34	3.23%	±0.00	9 ↑	すかがわ岩瀬農協	20	2.95%	+0.23
10	ひまわり信金	29	2.76%	▲ 0.28	9 ↓	福島信金	20	2.95%	+0.08

3. 売上規模別 ～東邦銀行がすべてトップ、「50億円以上」では県外が上位に

融資先の売上規模別の上位行は表3の通り。ここでも、**東邦銀行**が全売上規模で2位以下を引き離してトップのシェアを確保、小規模から中堅・大規模企業まで幅広く融資先を有している。売上規模が大きくなるにつれ県外金融機関の存在が目立つようになり、「50億円以上」では、上位10行中6行を県外金融機関が占め、**みずほ銀行**（シェア9.09%）が2位となっている。

表3（売上規模別上位行）

5000万円未満					5000万-1億円未満				
順位	金融機関	2022年 社数	シェア	前年比	順位	金融機関	2022年 社数	シェア	前年比
		(社)		(pt)			(社)		(pt)
1	東邦	3,713	38.54%	▲ 0.27	1	東邦	1,629	39.25%	▲ 0.09
2	大東	988	10.25%	▲ 0.14	2	大東	435	10.48%	+0.07
3	福島	811	8.42%	+0.19	3	福島	359	8.65%	±0.00
4	福島信金	603	6.26%	+0.02	4	福島信金	236	5.69%	+0.03
5	ひまわり信金	380	3.94%	▲ 0.22	5 ↑	ひまわり信金	171	4.12%	+0.46
6	郡山信金	357	3.71%	+0.12	6 ↓	郡山信金	147	3.54%	▲ 0.29
7	須賀川信金	314	3.26%	+0.01	7	常陽	145	3.49%	+0.07
8	白河信金	278	2.89%	+0.04	8	須賀川信金	131	3.16%	▲ 0.10
9	会津信金	267	2.77%	±0.00	9	いわき信組	123	2.96%	+0.23
10 ↑	いわき信組	247	2.56%	+0.02	10 ↓	白河信金	107	2.58%	▲ 0.15

1-5億円未満					5-10億円未満				
順位	金融機関	2022年			順位	金融機関	2022年		
		社数	シェア	前年比			社数	シェア	前年比
		(社)		(pt)			(社)		(pt)
1	東邦	2,522	40.44%	+0.01	1	東邦	567	44.86%	▲ 0.08
2	大東	611	9.80%	+0.02	2	大東	102	8.07%	+0.24
3	福島	540	8.66%	▲ 0.10	3	福島	101	7.99%	+0.73
4	福島信金	329	5.28%	±0.00	4	常陽	87	6.88%	▲ 0.30
5	常陽	314	5.04%	▲ 0.22	5	福島信金	44	3.48%	▲ 0.03
6	ひまわり信金	193	3.09%	▲ 0.05	6	七十七	30	2.37%	▲ 0.48
7	↑ 須賀川信金	188	3.01%	+0.06	7	↑ 福島県商工信組	27	2.14%	+0.10
8	↓ いわき信組	178	2.85%	▲ 0.13	7	ひまわり信金	27	2.14%	▲ 0.23
9	郡山信金	171	2.74%	+0.05	9	↑ いわき信組	26	2.06%	+0.10
10	福島県商工信組	146	2.34%	+0.06	10	↓ 郡山信金	25	1.98%	▲ 0.22

10-50億円未満					50億円以上				
順位	金融機関	2022年			順位	金融機関	2022年		
		社数	シェア	前年比			社数	シェア	前年比
		(社)		(pt)			(社)		(pt)
1	東邦	573	52.81%	+0.77	1	東邦	130	43.77%	▲ 0.80
2	常陽	79	7.28%	+0.27	2	みずほ	27	9.09%	+0.03
3	福島	74	6.82%	±0.00	3	常陽	16	5.39%	▲ 0.77
4	大東	55	5.07%	▲ 0.05	4	↑ 三井住友	10	3.37%	+0.47
5	みずほ	44	4.06%	▲ 0.11	5	↓ 七十七	9	3.03%	▲ 0.23
6	↑ 七十七	27	2.49%	+0.78	6	三菱UFJ	6	2.02%	▲ 0.52
7	↓ 福島信金	23	2.12%	+0.03	7	農林中金	5	1.68%	▲ 0.13
8	↑ ひまわり信金	16	1.47%	▲ 0.14	8	↓ 大東	4	1.35%	▲ 0.46
8	↑ 須賀川信金	16	1.47%	▲ 0.14	8	↑ 福島	4	1.35%	+0.26
10	↑ 秋田	15	1.38%	▲ 0.04	10	↑ 福島信金	3	1.01%	+0.29

4. まとめ ～東邦銀行が圧倒的なシェア、地元金融機関が強さ発揮

東邦銀行が業種別、売上規模別ともに2位以下を引き離して圧倒的なシェアを示した。また、メイン取引企業数トップテン中、5位の常陽銀行以外の9行を地元金融機関が占め、シェアは全体の約8割となった。上位20行のシェアは前年とほぼ同じであり、順位も同一であった。

経営統合や合併を軸とした地銀の合従連衡など、「地銀再編」が再び進みつつある。地場産業の衰退による融資先の減少などコロナ禍前から厳しい経営環境を余儀なくされてきた地域金融機関は、中小企業の事業承継問題やデジタル変革(DX)、脱炭素対応など前向きな資金需要に加え、コロナ融資などで過大な債務を背負った中小企業の事業再生を支援する役割も求められるようになり、低金利貸出以外のニーズにも対応可能な経営基盤の強化を迫られている。近年、多行間連携によるシナジー(相乗)効果は既に認められており、経営の独立性は保持しつつもハード・ソフト面を共有するなど、緩やかな連携＝アライアンスの結成を目指す動きが先行していた。今後は、営業エリアの重複解消や店舗・人員など組織のスリム化に向け、「経営統合」という、さらに一歩踏み込んだ対応を取る地域金融機関が増える可能性がある。

相次ぐ経営統合や、トップ行による寡占化などは、「借り手」からは手数料の引き上げや店舗整理に伴う利便性悪化、競争低下による融資への悪影響を心配する声も少なくない。一方、低コストでの送金や口座維持手数料の無料化など利便性の高い決済機能面を強みに、ネット銀行が店舗型金融機関の新たな受け皿となりつつあるほか、他地域から越境してサービスを提供する金融機関も多く、金融機関の選択肢は以前に比べ増えている。コロナ禍における地方経済下支えが至上命題となる地域金融機関では、経営統合や事業・資本提携などの形に捉われることなく、融資先企業のニーズに沿った金融・経営支援を持続的に展開できる経営基盤の強化が、引き続き求められる。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 郡山支店 担当:西迫 耕一郎

TEL 024-923-2442 FAX 024-922-2669

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。